



本校は、令和4年度と5年度、文部科学省から「人権教育に関する研究校」としての指定を受けています。今年度は、研究主題を「豊かな人間性や自尊感情を育成する人権教育～互いの違いやよさを認め合い、相手の気持ちを考えて行動できる児童の育成～」に設定し、児童、教職員、そして保護者の皆様とともに、人権に関する意識を高め、よりよい児童の育成、より過ごしやすい学校・家庭・地域づくりにつなげていくために様々な取組をしています。

その一環として人権教育に関する本校の活動を伝えるための人権だよりを発行しています。第5号では、11月16日に行われた「『人権教育研究指定校事業』公開研究発表会」についてお伝えします。

◎2年1組 算数「はこの形」

正方形の面の特徴や位置関係に着目し、立方体を作り上げる方法を考える授業でした。人権教育の視点は、「すごろく用のさいころを作るという子どもたちにとって身近なめあてを設定することで、児童の主体的な学びにつなげる。」ことと「できた展開図について発表する際、『やさしい話し方』『あたたかい聴き方』を意識することで、自分の考えた展開図と異なる考えも尊重し、自分の考えと同じところや違うところを見付けられるようにする。」ことでした。



◎5年1組 学級活動(1)「2学期がんばったね会をしよう」

一人一人が自信をもって学校生活を送ることができるようにするために、友達と協力しながら、「2学期がんばったね会」を計画する授業でした。人権教育の視点は、「温かく思いやりに満ちた人間関係を築くために、意見を述べる場面では『あたたかい聴き方』で聴くことができている児童を賞賛することで、友達の考えを受けとめることができるようにする。」ことと「温かく思いやりに満ちた人間関係を築くために、反対意見が出た考えに対し、修正案を出し合う場を設定することで、多様な意見を認め合い、互いのよさを生かしながら考え、伝え合い、合意形成することができるようにする。」ことでした。



◎6年1組 学級活動(2)「SNSの使い方」

日常生活やSNS上で、よりよいコミュニケーションの方法やよりよい関係を築く手立てについて考え、自分の課題にあった具体的な目標を決める授業でした。人権教育の視点は、「授業の流れを可視化し、見通しをもてるようにすることで、安心感をもって授業に臨めるようにする。」ことと「自分の考えを发表或し、友達の考えを聴いたりする際には、本校で示している『やさしい話し方』や『あたたかい聴き方』を意識し、他者を尊重した意見の交流ができるようにする。」ことでした。



◎全体会・授業研究会・講話

公開授業の前には、研究主任から研究概要の説明がありました。

公開授業の後、参観した先生方と授業研究会を行いました。意見交換が活発に行われ、貴重なご意見をいただくことができました。



最後に、栃木県教育委員会事務局教育政策課人権研究室 山田 大介副主幹より、「栃木県の人権教育推進に向けて」というテーマでご講話をいただきました。

今回の公開研究発表会をもって、研究は一段落しましたが、これで終わりということではありません。この2年間で子どもたちに芽生えてきた人権感覚を大切に育て、人権教育の推進を図っていきたいと思います。日頃から、教育活動にご協力いただいている皆様、本当にありがとうございます。これからも、どうぞよろしくお願い致します。